

フェーズフリーアワード 2022

PHASE FREE AWARD 2022

応募要項

主催 : 一般社団法人フェーズフリー協会

目次

はじめに	02
1章 フェーズフリーアワードの概要	06
2章 部門とカテゴリー	08
3章 応募規定	11
4章 事前エントリーから授賞式までのプロセス	14
5章 応募方法	15
6章 審査料	19
7章 審査について	20
8章 賞について	21
9章 公開情報	24
10章 受賞 PR グッズについて	25
お問い合わせ先	26

はじめに

■主催者挨拶

「フェーズフリーって、どういう考え方？」

「どんなプロダクトが、フェーズフリー性が高いといえるの？」

「サービスや施設（ファシリティ）をフェーズフリーにするって、どういうこと？」

そんな疑問をお持ちのかたも多いことでしょう。

そこで、「フェーズフリー」をわかりやすい形で皆さんに知ってもらうこと、より多くの「フェーズフリー」を皆さんに生み出してもらうこと、さらに、皆さんからの「フェーズフリー」を社会に還元し新たな気づきをもたらすこと、この3つを目的に「フェーズフリーアワード」を企画しました。

昨年の第1回「フェーズフリーアワード」には、はじめての試みにも関わらず、総計 195 件の応募および約 1,000 件のオーディエンス投票をいただきました。様々なカテゴリーのユニークな事業・アイデアが集まり、応募者・投票者等が互いに触発・応援し合う場となりました。そしてまた、主催者としても、フェーズフリーの具現化に向けて必要なことを新たに発見するなど、貴重な気づきを得ることができました。

第1回の応募対象の中には、防災アイテム・サービスとしてなら評価できるものの、フェーズフリーが重視する「日常性」（日常時の価値：ふだんから使いたいものか？）が低いものも見受けられました。そこで第2回開催となる今回は、日常（いつも）について、もう少し意識していただけるように、以下のような新たな合言葉を掲げました。

「いつも」を良くする。「もしも」も良くする。社会が変わる。

今年ご参加いただく皆さんには、ぜひこのような視点を大切にしていただけたいと思います。

たくさんのご応募、お待ちしております。

一般社団法人フェーズフリー協会
代表理事 佐藤 唯行

■フェーズフリーが生まれた経緯

「災害は起きるけれど、備えるって難しい。でも、大切な人を絶対に守りたい」
フェーズフリーは、このような思いから生まれました。

そもそも「災害」とはなんでしょう、どうして起こるのでしょうか。「災害」は、「ハザード」と「脆弱性」とが重なり合うことで起こります。

地震や台風を「災害」と捉えている人も多いかもしれませんが、ですが、それらの自然現象は、「災害」そのものではなく、「ハザード」と呼ばれるものです。また、「ハザード」には、これらの自然現象に加え、交通システムや発電設備など、私たちの暮らしを便利にしてくれる社会環境も含まれます。このように分解して考えてみると、自然現象をなくすことはできないものの、社会環境には改善の余地があることが見えてきます。その社会環境（私たちの日常生活）に潜む、被害を誘発する要素のことを「脆弱性」と呼びます。すなわち、この脆弱性を小さくすることができれば、様々なハザードが災害にまで発展することを防ぐことができるのです。

では、脆弱性を小さくするにはどうしたらよいのでしょうか。

これまでの防災的な考え方では、高い想像力（様々なハザードを想定し、そのとき自分たちがどのような困難に見舞われるのかを、リアリティをもって思い描く能力）と、多くのコスト（万が一に備えるための時間やお金、労力、さらには防災用品を収納するためのスペースなど）が必要でした。しかし、日常生活に追われる私たちにとって、それらは容易なことではありません。

そこで誕生したのが、フェーズフリーという発想です。

「災害の芽となる脆弱性は、日常の中にすでにある」ということ、そしてまた「非常時への備えは、多くの人にとって難しい」ということ。この社会と人間の弱点を見つめてみると、「災害を減らし被害を軽減するためには、日常生活を変えることが大切」ということがわかります。それならば、「いつも」を良く（脆弱性を小さく）することで、「もしも」も良くできるようなモノやコトにあふれた世の中を目指したらどうか——そのような考え方が「フェーズフリー」です。誰もが知らず知らずのうちに災害への備えができていく“豊かで安心な社会”を目指します。

フェーズフリーアワードの合言葉

「いつも」を良くする。「もしも」も良くする。社会が変わる。
これが、フェーズフリーアワード 2022 の合言葉です。

『いつも』を良くすることで、『もしも』も良くしていく」これによって実現されるのは、日常時・非常時というフェーズにかかわらず、私たちがつねに豊かで安心して過ごすことができる社会です。

いつもの生活をより豊かにしてくれるものとは、すなわち、今欲しいものや、今使いたいものです。そして、そのようなものに、今の生活の質を高めながら、同時に、災害の芽となる脆弱性を抑える効果があったなら、「もしも」も心地よく過ごすことができます。

たとえば、夏は涼しく、冬は暖かく過ごすために、多くの人が身につけている機能性インナー。それは、いざ

という時にも、命や健康を守るために役立つでしょう。

また、ふだんのドライブをより楽しむために燃費を考慮して選んだ PHV 車が、停電時には蓄電池・発電機として家族の暮らしを守ってくれたりもします。

その他にも、日頃から利用している施設や公園などが、各種インフラが途絶えた際にも近隣住民の生活を支えてくれるとしたら、多くの人が慣れ親しんだ場所で、より安心して過ごすことができます。

フェーズフリーが目指しているのは、そんなプロダクトやサービス、ファシリティが当たり前となった世の中＝誰もが知らず知らずのうちに備えられている社会です。

このフェーズフリーアワードをきっかけに、そんなモノやサービスが続々と生まれ、育ち、広がっていくことを願っています。

コストであり専門的な防災から、バリューであり産業的なフェーズフリーへ

「フェーズフリー」と「防災」とはどちらも、災害による被害を減らし、人々の命や生活を守ることを目指す概念です。ただ「防災」という言葉は、その性質上、深刻な雰囲気をもといがちで、高い専門性を要するという側面もあります。そのため、防災に関する事業やアイデア提案は、一般の人には参加しにくいという実状があります。

その状況をなんとかして、防災という活動に、今までとは違ったアプローチで、多くの人が関われるようにできないだろうか？ あらゆる産業が参加できるよう間口を広げることができれば、今はまだ不可能なことも、もしかして可能にできるのではないか？ そう考えたのです。

また同時に、非常時のためだけに特別に備える（コスト）のではなく、日常時の生活の質を高めてくれるもの（バリュー）が、非常時にも役立ち価値を発揮できるようなものであったなら——防災はすべての人にとってコストではなくバリューになれると思うのです。

フェーズフリーは参加しやすいプラットフォーム

あらゆる産業（企業や個人）が関わりやすくなるように、「フェーズフリー」は、「防災」が必然的にまどってしまいう参加しづらい雰囲気を取り払い、「誰もがもっと前向きな気持ちで、災害と共存しながらも幸せに暮らせる社会をつくる」ことを目指す概念でもあります。

このように「フェーズフリー」は、私たちの命と生活を守る新しいアイデアを生み出すためのシンプルな道しるべであり、またすべての人が参加しやすいプラットフォームでもありたい、と願っています。

フェーズフリーという指針を使って、自分だったらどんな商品がほしいか？ どんなサービスがあったらうれしいか？ うちの会社だったら何が作れるか？ うちの組織のサービスはどんなふうに変えられるか？

こんな切り口で考えたら、新しい発明品を生み出すときのように、楽しいわくわくした気持ちが湧いてきて、多くの人が取り組みやすくなるかもしれません。

そして、誰かが別の誰かのアイデアを気に入って、触発されてまた新しいアイデアを思いつく、そんなよい循環を目指したいのです。

最初はほんの小さな思いつきでも、たくさんの人がそれぞれに育ててくれたら、世界を一変させる革新的なアイデアだって生まれてくるかもしれません。

そんなふうに日々考えているうちに、私たちの心も徐々にフェーズフリーになっていって、いつか、災害時を基準とした発想が平常時においても苦勞せずできるようになり、この世界を構成するもののほとんどがフェーズフリーになる日が来るかもしれません。

ご一緒に、フェーズフリーな世界創りに、取り組んでいただけないでしょうか。

1章 フェーズフリーアワードの概要

1.1 フェーズフリーアワードの位置づけ

フェーズフリーアワードは、「フェーズフリー」のコンセプトによって、「災害による被害が起こりにくい、安心して豊かに暮らせる」社会を実現していくための活動の一つです。

2019年にはじまった「フェーズフリーアクションパートナー」制度および「フェーズフリー認証」制度に続く、3つめの柱として、昨年2021年にこの「フェーズフリーアワード」がスタートしました。

審査と授賞式・シンポジウムの開催により、フェーズフリーの認知度向上をはかり、またフェーズフリーの新たな知見を社会に還元し、災害と共存しながらも安心して豊かに暮らせる社会を目指します。

1.2 フェーズフリーアワードへの参加方法

フェーズフリーアワードの対象は、大きく2つに分けられます。

- ・すでに世の中に存在するもの（＝事業部門）
- ・まだ具現化されていないアイデア段階のもの（＝アイデア部門）

プロダクトやサービス、ファシリティなど、あらゆるものがフェーズフリーになる可能性があるため、それらすべてが審査の対象です。

また、個人・グループ・団体（企業）等、参加の単位は自由です。

さらに、審査には一般のかたがWebから投票できる「オーディエンス投票」制度もあるため、誰でも審査員として参加することができます。

1.3 フェーズフリーアワードの目的

フェーズフリーアワードの目的は、以下の4つです。

- ・すでに存在しているフェーズフリーなものを発見すること
- ・フェーズフリーの新たな知見を見出すこと
- ・フェーズフリーアワードエンブレムを付与したものを社会に送り出すこと
- ・さらに、いまだ見つかっていないフェーズフリーのよりよい考え方・取組み方を探ること

1.4 フェーズフリーアワードエンブレム

「フェーズフリーアワードエンブレム」は、受賞の証として使用することができるシンボルマークです。「フェーズフリー認証を取得していること」かつ「フェーズフリーの特性が高いこと」を示します。

※フェーズフリーアワードエンブレム（商標）の使用には、お申し込みが必要です。詳細は「フェーズフリーアワードエンブレム使用手引き」をお読みください。

1.5 フェーズフリーとは

「フェーズフリー」とは、ふだん身のまわりにあるモノやサービスを「日常時」と「非常時」というフェー

ズ（社会の状態）からフリーにして、いつもともしもに関わらず生活の質を向上させ、私たちの生活や命を守ってくれるものにしようという新しい考え方です。

非常時のための特別なものではなく、日常時にも非常時にも役に立つモノやサービスを普及させることによって、誰もが安心して豊かに暮らせる社会を作りたいという想いから生まれました。

※詳しくは「フェーズフリーコンセプト&ガイド」サイトをご覧ください。

2章 部門とカテゴリ

フェーズフリーアワードは2つの「部門」と、3つの「カテゴリ」から構成されています。応募の際は、「部門」と「カテゴリ」から、それぞれ1つずつお選びください。

部門		カテゴリ	
A	事業部門	1	プロダクト
		2	サービス
		3	ファシリティ
B	アイデア部門	1	プロダクト
		2	サービス
		3	ファシリティ

2.1 部門について

部門は、「A：事業部門」と「B：アイデア部門」の2つがあります。応募の際は、2つのうち1つをお選びください。

部門		部門の説明
A	事業部門	社会にすでに存在し、募集締切日において利用・購入が <u>可能な</u> もので、フェーズフリーな特性を備えているもの
B	アイデア部門	社会に <u>いまだ存在せず</u> 、あるいは募集締切日において利用・購入が <u>可能でない</u> もので、フェーズフリーな特性を備えているもの。着想段階のもののほか、調査・研究も含む

A：事業部門

「A：事業部門」は、プロダクト・サービス・ファシリティとして社会にすでに存在するもの、あるいは2022年5月26日（募集締切日）時点において利用・購入できるもので、フェーズフリーな特性を備えているものが対象です。

すでに社会に存在し、発表され、価値提供できる状態にあるものであれば、営利か非営利かは問いません。フェーズフリー認証に申請中、およびフェーズフリー認証を取得済みのものについても応募可能です。

※フェーズフリー認証に申請中またはフェーズフリー認証を取得済みの場合には、フェーズフリーアワード審査料が免除される場合があります。詳しくは「6章 審査料」をお読みください。

B：アイデア部門

「B：アイデア部門」は、プロダクト・サービス・ファシリティとして、社会にいまだ存在しないもの、あるいは2022年5月26日（募集締切日）時点において利用・購入できないもので、フェーズフリーな特性を備えているものが対象です。また、同時点において情報公開できることを必須とします。

着想や文章あるいはビジュアルとして存在するものの、実際に利用可能な存在として社会に提供されていないものであれば、営利か非営利かは問いません。

また、調査・研究なども含みますが、調査・研究の成果等がプロダクト・サービス・ファシリティなどに

すでに反映されている場合は、アイデア部門ではなく事業部門として、対応する各カテゴリーに応募してください。

2.2 カテゴリーについて

カテゴリーには、「1：プロダクト」、「2：サービス」、「3：ファシリティ」の3つがあります。サブカテゴリーの内容を参考に、3つのカテゴリーのうち1つをお選びください。

カテゴリー 1：プロダクト

「1：プロダクト」カテゴリーでは、実体としての生産物・製造品が対象です。

カテゴリー 2：サービス

「2：サービス」カテゴリーでは、役務の提供が対象です。情報端末を通じて情報やコンテンツを提供するサービス、情報端末上で動作するソフトウェアなど、それ自体に実体のない無体物も含まれます。また、活動や取組なども含まれます。

カテゴリー 3：ファシリティ

「3：ファシリティ」カテゴリーでは、施設、設備、建物などを対象とします。

次ページに、カテゴリーとサブカテゴリーを一覧にした表がありますので、ご確認ください。

また、一つの応募対象が複数のカテゴリーに該当する場合には、「最もフェーズフリーの性質が表れている」と考えられるカテゴリーを選択してください。

■ カテゴリーとサブカテゴリー

カテゴリー		サブカテゴリー	
1	プロダクト	1-01	生活用品・生活家電
		1-02	家具・住宅設備機器
		1-03	事務用品
		1-04	衣料品・装身具・装飾品
		1-05	情報機器・通信機器
		1-06	趣味・娯楽・スポーツ用品
		1-07	交通・運輸・移動機器
		1-08	医療機器・健康機器・福祉機器
		1-09	教育機器・公共機器
		1-10	食品・飲料
		1-11	その他の製品
2	サービス	2-01	生活関連サービス
		2-02	住宅設備関連サービス
		2-03	事務関連サービス
		2-04	衣料・装身サービス
		2-05	情報・通信サービス
		2-06	交通・運輸サービス
		2-07	飲食・宿泊・観光サービス
		2-08	文化・教育サービス
		2-09	公共・インフラサービス
		2-10	医療・健康・福祉サービス
		2-11	金融・投資サービス
		2-12	活動・取り組み・その他のサービス
3	ファシリティ	3-01	戸建て・集合住宅
		3-02	オフィス・事業所
		3-03	商業空間・アミューズメント施設
		3-04	飲食・宿泊・観光施設
		3-05	公園・レジャー・スポーツ施設
		3-06	教育・文化・公共施設
		3-07	医療・健康・福祉施設
		3-08	その他の空間・施設・設備

3章 応募規定

フェーズフリーアワードは、後述の審査基準に基づいて、総合的に審査・評価を行います。応募にあたっては、以下の部門ごと・カテゴリごとの規定をご確認ください。

3.1 部門別応募規定

一つの応募対象について、事業部門かアイデア部門のどちらかを選択してください。

A：事業部門

社会にすでに存在し、2022年5月26日（募集締切日）時点において、利用・購入が可能であるものを対象とします。営利か非営利かは問いません。

B：アイデア部門

社会にいまだ存在せず、あるいは2022年5月26日（募集締切日）時点において利用・購入が可能でないものを対象とします。ただし、2022年8月6日（オーディエンス投票開始日）時点で、応募対象の情報を公開できること。営利か非営利かは問いません。また、調査・研究も対象です。

3.2 全カテゴリ共通

・一つの応募対象が複数のカテゴリに該当する場合には、「最もフェーズフリーの性質が表れている」と考えられるカテゴリを選択してください。

審査委員会において「応募時のカテゴリとは別のカテゴリとして、よりフェーズフリーの性質を評価できる」と判断された場合には、別のカテゴリとして審査する場合があります。このため、どのカテゴリで応募いただいても、審査に有利または不利ということはありません。

・各カテゴリに関連した「調査・研究」については、その段階（事前・途中・事後）によらず、アイデア部門の対応するそれぞれのカテゴリへ応募可能です。

・事前エントリー1回で、複数対象の応募が可能です。

3.3 カテゴリ別応募規定

カテゴリ別の応募規定は以下のとおりです。

カテゴリ 1：プロダクト

A：事業部門

・デザインが同一で、色やサイズなどのバリエーションがあるものなど、1つのシリーズ商品とみなせる場合には、1件の対象として応募が可能です。ただし応募時には、全点の色・柄・サイズ・材質等の内容がわかる資料（一覧表や写真など）を、「プレゼンテーションシート」または「応募シートの仕様欄」などに入力して提出してください。

・明らかに異なる商品を1つのシリーズとして応募された場合は、改めて別々に応募いただくようお願いすることがあります。

・輸入製品については、その輸入元の日本法人あるいは総代理店契約・総販売店契約やライセンス契約

を締結した企業・団体・個人からの応募が可能です。総代理店契約・総販売店契約のない輸入品については、製造元を応募者とするか、製造元との連名応募としてください。

B：アイデア部門
特にありません。

カテゴリー 2：サービス

A：事業部門
役務の提供のほか、さまざまな取り組みや活動も対象です。パンフレットなどを、「プレゼンテーションシート」として提出することも可能です。

B：アイデア部門
特にありません。

カテゴリー 3：ファシリティ

A：事業部門

- ・計画設計図書やパース、あるいは模型の写真、CG などの資料を以て応募してください。「プレゼンテーションシート」として提出することも可能です。
- ・設計・施工会社からの応募の場合は、施主あるいは主たる事業者の了解が必要です。
- ・建築物や空間を対象としています。施設内で提供されるサービスやプログラムは、サービスカテゴリーをご選択ください。

B：アイデア部門
特にありません。

3.4 これまでに受賞したものの再応募について

これまでに他のコンペ等で受賞歴のあるもの、あるいは他のコンペ等に応募したものも応募が可能です。ただしフェーズフリーアワードへの応募によって、すでに得た受賞資格が取り消しになるなどのリスクについては、応募者の責任において確認してください。

3.5 応募資格について

- ・応募者の国籍、年齢、性別、居住地域、所在地等は問いません。
- ・応募関連の資料および Web サイト等は、すべて日本語でご用意していますが、英語で入力いただいてもかまいません。ただし事務局からのお問い合わせやメールに対しては、日本語での対応が可能なことを必須とします。
- ・個人、法人、グループ・団体等、いずれの単位でも応募いただけます。
- ・入選および受賞の場合に、2022年9月10日（土）に東京で行なう授賞式・シンポジウムに参加できることを必須とします。

①応募者が企業の場合

- ・応募者は、応募対象の事業主体（開発・製造元、施主、運営主体）または、事業主体から委託を受けた企業・団体（販売会社、代理店、運営会社、設計事務所、施工会社など）とします。ただし、委託を受けた企業・団体の場合は、事業主体の同意を得てください。

・複数企業の連名の応募も可能ですが、その際には連絡先窓口となる企業を決めてください。

※受賞発表後の応募者名の変更（企業・団体の追加、削除、順番変更など）はできませんのでご注意ください。

②フェーズフリー認証との関連

フェーズフリー認証を取得済みおよびフェーズフリー認証へ申請中の場合も、応募も可能です。審査料が免除になる場合があるため、詳しくは「6章 審査料」をお読みください。

③20歳未満のかた

20歳未満の方は保護者の同意を得たうえでお申し込みください。

3.6 応募に関する注意事項

応募者は次の事項に同意のうえ応募するものとし、応募した場合には、応募者は以下の事項に同意したものとみなします。

- (1) 応募資料（電子ファイル等）は返却しません。
- (2) 携帯電話会社のキャリアメールのアドレスでは、メールが届かない可能性があるため、PCで送受信できるメールアドレスをご登録ください。
- (3) 応募に際して提供された個人情報は、主催者が適切に管理し、募集に係る事務処理に利用する他、関連ウェブサイト、出版物、セミナー、シンポジウム、アンケート等の調査に利用することがあります。入選および受賞対象の発表時には、応募者名と応募対象名を公表します。
- (4) 著作権・商標権・肖像権などで第三者の権利（知的財産権や著作権等）を侵害することのないよう十分配慮して下さい。特に、雑誌、書籍、Webなどの著作物から無断で複製した画像を使用しないこと。第三者とトラブルが発生した場合は、フェーズフリー協会およびフェーズフリーアワード事務局ではその責任を負いません。応募者自身の責任において解決していただきます。またそのような場合は、受賞等を取り消すことがあります。
- (5) 応募対象に含まれる発明、考案、意匠の創作、著作物等に関する知的財産権は、応募者に帰属します。ただし、応募対象を展示、出版、広告、ウェブサイトへの掲載、その他の広報活動に二次使用する優先的権利は、主催者が有するものとし、この場合の使用料は無償とします。知的財産権、特別なノウハウや秘密事項は、応募者自身の責任において法的保護を行なうなど、あらかじめ対処してください。
- (6) 以下の場合は、応募を無効扱いまたは受賞等を取り消します。
 - ・ 受賞対象が、知的財産権など第三者の権利を侵害するものと判断される場合
 - ・ 安全性等の問題で社会的に損害を及ぼすものと、公に判断が下された場合
 - ・ 表彰の目的を損なうような行為もしくは虚偽の記載があった場合
 - ・ 審査等でご協力いただけない場合
 - ・ 法令違反など、社会通念上、受賞者とすることがふさわしくないと判断される場合

4章 事前エントリーから授賞式までのプロセス

#	プロセス	プロセス詳細	日時
1	事前エントリー および 説明会	事前エントリー受付開始	1月17日(月) 12:00
		<ul style="list-style-type: none"> ・応募には、事前エントリーが必要です。 ・1回の事前エントリーで、複数の対象に応募できます。 	
		説明会①：動画公開	1月下旬
		説明会②：動画公開	2月中旬
		説明会③：動画公開	3月上旬
<ul style="list-style-type: none"> ・アワードに関する説明動画を公開する予定です。 ・動画公開の日程は、Webサイトおよび事前エントリー済みの方へのメールにてお知らせします。 			
		事前エントリー受付締切	5月26日(木) 12:00
2	応募	募集開始	3月11日(金) 13:00
		審査料のご入金受付開始 ※事業部門のみ	3月11日(金) 13:00
		<ul style="list-style-type: none"> ・事業部門への応募には、審査料が必要です。 ※フェーズフリー認証に関連した応募については、審査料が免除される場合があります。 	
		募集締切	5月26日(木) 18:00
		審査料のご入金受付締切 ※事業部門のみ	6月10日(金) 18:00
3	一次審査	一次審査～入選対象の決定	6～7月下旬
		<ul style="list-style-type: none"> ・フェーズフリーアワード審査委員により一次審査を行ない、入選対象を決定します。 	
4	オーディエンス投票	入選対象の発表	8月06日(土) 10:00
		オーディエンス投票開始	8月06日(土) 10:00
		<ul style="list-style-type: none"> ・入選対象は、Webサイトにて発表します。 ・入選対象に対しオーディエンスからの投票を受け、オーディエンス賞を決定します。 	
		オーディエンス投票締切	9月01日(木) 10:00
5	最終審査	最終審査～アワード受賞対象の決定	8～9月初旬
		<ul style="list-style-type: none"> ・最終審査により、入選対象の中から各フェーズフリーアワード受賞対象を決定します。 	
6	授賞式 および シンポジウム	受賞対象の発表・表彰、シンポジウム	9月10日(土) 13:00～
		<ul style="list-style-type: none"> ・授賞式にて各フェーズフリーアワード受賞対象を表彰し、シンポジウムにて審査委員による講評を行ないます。 	

5 章 応募方法

5.1 事前エントリーから審査開始までの流れ

事前エントリーから審査開始までは、以下の流れで進みます。

事前エントリーおよび応募はすべて、アワードサイトにて受付いたします。

1. 事前エントリー ※確認メールの受領→事前エントリーの完了
↓
2. 「応募要項」と「応募シート」のダウンロード ※事前エントリー前でもダウンロード可能
↓
3. 「応募のご案内」メールの受領 ※「応募ページ」へ入るためのパスワードのお知らせ
↓
4. 応募 確認メールの受領→応募の完了
↓
5. 審査料の支払い ※事業部門のみ
↓
6. 審査開始

5.2 各ステップについて

以下、各ステップについて説明します。

1. 事前エントリー

①事前エントリーについて

- ・事前エントリーは、応募者に関する情報を登録する手続きです。「事前エントリー」ページから行なってください。
- ・事前エントリーで入力いただく情報は、応募者のかたへの各種ご案内や、入選および受賞の際に使用されます。お間違いのないようご入力ください。
- ・入選および受賞の際に応募者名および所属を公開する場合のほか、事前エントリー内容（応募者の情報）を公開することはありません。
- ・事前エントリーが完了すると、自動的に確認メールが届きます。届かない場合は、正しく完了していないと考えられるため、以下の点をご確認のちお問い合わせください。
 - a. 確認メールが、受信フォルダではなく、迷惑メールフォルダに届いていないか。
 - b. メールソフトが、ドメイン「phasefree.net」からのメールを受信できる設定になっているか。

※注：携帯電話会社のキャリアメールのアドレスでは、メールが届かない可能性があるため、PCで送受信できるメールアドレスをご登録ください。

②複数対象を応募する場合

- ・複数の対象を応募する場合でも、事前エントリーは基本的に1回のみです。
- ・応募する全対象について、担当者（＝連絡先、請求書の送付先）の情報が同一であれば、事前エントリーは1回です。

- ・応募する対象ごとに、担当者（＝連絡先、請求書の送付先）が異なる場合は、別途、事前エントリーが必要です。

③事前エントリー内容を修正・変更する場合

「お問い合わせページ」より、お問い合わせください。

2. 「応募要項」と「応募シート」のダウンロード

- ・「応募要項」は、この PDF 資料です。
- ・事前エントリーの前でも、ダウンロード可能です。
- ・「応募シート」は応募の際、必ず提出してください。複数対象を応募する場合は、1 対象につき 1 ファイルの応募シートを作成してください。

3. 「応募のご案内メール」の受領

- ・応募期間が開始する数日前に、事務局より「応募のご案内」メールをお送りします。そのメールに記載されたパスワードにより「応募ページ」へアクセスすることができます。
- ・応募期間になりましたら、パスワードを入力して「応募ページ」へアクセスし、応募してください。

4. 応募

①応募について

- ・応募は、応募対象に関する情報を登録する手続きです。応募期間になりましたら「応募ページ」より応募してください。郵送その他の方法での受付はしていません。
- ・現物の提出は必要ありません。
- ・応募の際には、事前エントリー時に作成した ID と、事前エントリー時に使用したメールアドレスを、必ずご使用ください。

※注：事前エントリー時の ID・メールアドレス以外で応募されますと、応募が無効になる場合がありますのでご注意ください。

- ・必要事項を入力し、以下の提出物をアップロードしてください。
- ・複数の対象を応募する場合は、対象 1 つにつき 1 回の応募が必要です。

②提出物

提出物		必須/任意	提出場所	形式	サイズ ※1 ファイル
A	応募シート	必須	応募ページへアップロード	MS Excel	5MB 以内
B	画像（審査用）	必須 1 点 最大 2 点まで	応募ページへアップロード	JPEG	5MB 以内
C	画像（公開用）	必須 1 点のみ	応募ページへアップロード	JPEG	5MB 以内
D	プレゼンテーションシート	任意	応募ページへアップロード	PDF	5MB 以内
E	プレゼンテーションムービー	任意	firestorage へアップロード	wmv/mpg/ mov/mp4	100 MB 以内

- ・提出物には、必須のものと任意のものがあります。上の表をご確認ください。
- ・応募シート、画像（審査用）1点、画像（公開用）1点は、必須の提出物です。
- ・プレゼンテーションシートと映像は、任意の提出物です。
- ・いずれの提出物にも、「応募者の情報」がなるべく入らないようご注意ください。

a. 応募シート ※必須

作成条件

- ・ファイル名 : 任意のファイル名
- ・ファイル形式: MS Excel 形式
- ・サイズ : 5MB 以内
- ・提出方法 : 応募ページへアップロード
- ・入選した際に公開される項目 : シート名「①提案の概要【必須】」の全項目

※注：画像はそれぞれの枠ごとに準備してください。また、日常時と非常時にまたがって文字を入れたり、画像を入れるなどしないでください。

b. 画像（審査用） ※必須1点、最大2点まで

作成条件

- ・ファイル名 : 任意のファイル名
- ・ファイル形式: JPEG 形式
- ・サイズ : 5MB 以内（1点あたり） ※名刺と同じ比率（1:1.6）
- ・提出方法 : 応募ページへアップロード

c. 画像（公開用） ※必須1点のみ

作成条件

- ・ファイル名 : 任意のファイル名
- ・ファイル形式: JPEG 形式
- ・サイズ : 5MB 以内 幅/高さともに「800ピクセル以上」 ※名刺と同じ比率（1:1.6）
- ・提出方法 : 応募ページへアップロード

※注1：受賞した際、Web サイトおよび報告書等に掲載します。

※注2：説明文などの含まれない画像にしてください。

※注3：必要に応じて、トリミングする場合があります。

※注4：審査用画像と同じものでもかまいません。

d. プレゼンテーションシート ※任意

作成条件

- ・ファイル名 : 任意のファイル名
- ・ファイル形式: PDF 形式
- ・サイズ : 5MB 以内 A4 サイズ/ヨコ向き 2ページ以内
- ・提出方法 : 応募ページへアップロード

※注：内容は自由です。応募シートで表現しきれなかったことを、文章や画像を使って記載してください。

e. プレゼンテーションムービー ※任意

作成条件

- ・ファイル名 : 応募対象の名称(先頭 20 文字まで) 例) ○○○○ボールペン.wmv
- ・ファイル形式: wmv/mpg/mov/mp4 形式のいずれか
- ・サイズ : 100MB 以内 1 分以内
- ・提出方法 : オンラインストレージサービス firestorage にアップロード後、ダウンロード URL を事務局 info@phasefree.net 宛てにお送りください。

メールの件名は、「事前エントリー時に決めた ID_応募対象名」としてください。

※注：内容は自由です。応募シートなどで表現しきれなかったことを表現してください。

③応募および提出物に関する注意点

- ・特殊文字や記号などを使用すると文字化け等の可能性があるため、使用しないでください。
例：™、® などの商標登録記号など
- ・使用する画像等は、著作権等の個別権利について必要な処理を事前に行った上で応募してください。

本アワード側では個別の権利処理はいたしません。また一切の責任を負いかねます。

- ・いずれの提出物にも、「応募者の情報」はなるべく入れないようご注意ください。
- ・応募完了後は、内容を変更することはできません。
- ・提出いただいた資料の他、応募対象に関するお問い合わせ、または、追加資料を別途お願いする場合があります。
- ・事務局からお願いする追加資料を除いて、応募締切後の提出は一切受け付けられませんので、あらかじめご了承ください。
- ・応募が完了すると、自動的に確認メールが届きます。届かない場合は、正しく完了していないと考えられるため、以下の点をご確認のちお問い合わせください。
 - a.確認メールが、受信フォルダではなく、迷惑メールフォルダに届いていないか。
 - b.メールソフトが、ドメイン「phasefree.net」からのメールを受信できる設定になっているか。

注：携帯電話会社のキャリアメールのアドレスでは、メールが届かない可能性があるため、PC で送受信できるメールアドレスをご登録ください。

5. 審査料の支払い ※事業部門のみ

- ・事業部門への応募には、審査料の支払いが必要です。アイデア部門への応募に、審査料は不要です。
- ・事業部門への応募受付後、ご希望のかたには「審査料請求書」を順次お送りします。
- ・フェーズフリー認証に関連した対象については、審査料が免除になる場合があります。詳しくは「7 章 審査料」をご確認ください。

6. 審査開始

以上の 1～5 までのステップが完了したことを事務局で確認できましたら、審査へ移行します。

6章 審査料

応募部門、およびフェーズフリー認証（PF 認証） への手続き状態で、審査料が異なります。

6.1 応募 1 件あたりの審査料

A：事業部門・・・16,500 円（税込）

但し、PF 認証を取得済み、または PF 認証へ申請中の応募対象については無料となります。

詳しくは以下の表をご確認ください。

B：アイデア部門・・・無料

部門		PF 認証	PF 認証の審査料	審査料（税込）
A	事業部門	PF 認証への申請をしたことがない応募対象		16,500 円
		PF 認証へ申請中の 応募対象 ※注 1)	PF 認証の審査料を、アワード応募の後に支払う予定	16,500 円
			PF 認証の審査料を、アワード応募前に支払い済み	0 円
		PF 認証を取得済みの応募対象		0 円
B	アイデア部門			0 円

※注 1) 「PF 認証へ申請中」とは、PF 認証へ申請済みであって、「PF 認証の審査結果が出る前の状態」および「PF 認証の審査結果が出た後、PF 認証マーク使用料を支払い前の状態」です。

6.2 審査料のお支払い

応募の受付に応じて、請求書を順次発行します。お支払いの期限は 2022 年 6 月 10 日（金）です。

応募の際に、請求書の要不要および請求書の送付形態（電子メールまたは郵送）をお知らせください。

7章 審査について

応募時に選択した部門において、応募対象が持つフェーズフリーの特性について、応募時の提出物に基づき総合的に審査します。

7.1 審査委員

※追って発表します。

7.2 審査基準

フェーズフリーアワードの審査は、フェーズフリーの評価方法に基づいて行なわれます。

①部門別の審査基準

A：事業部門

フェーズフリーの性質を獲得できているかについて、「汎用性」と「有効性」とに分け、詳細に審査します。

B：アイデア部門

フェーズフリーの性質に加えて、課題への着眼点、課題解決の方法、新規性、独創性を審査します。

②カテゴリー別の審査基準

全てのカテゴリーに同一の審査基準を適用するため、共通の基準により審査します。

7.3 フェーズフリーの特性

審査の要点となるフェーズフリーの特性については、以下のサイトおよび出版物をご参照ください。

①フェーズフリー総合サイト	https://phasefree.net/
②フェーズフリーコンセプト&ガイドサイト	https://phasefree.org/
③フェーズフリーデザイン事例集サイト	https://dcs.phasefree.net/
④フェーズフリージャーナルサイト	https://jn.phasefree.net/
⑤フェーズフリー認証サイト	https://cf.phasefree.net/
⑥フェーズフリーブックスサイト	https://bk.phasefree.net/
⑦フェーズフリーアクションパートナーサイト	https://ap.phasefree.net/

8章 賞について

応募対象の中から一次審査を通過した対象を、入選とします。

また、入選対象の中から最終審査を通過したものを受賞とし、フェーズフリーの特性が特に高いと認め、「PHASE FREE AWARD 2022」として顕彰し、賞を授与します。

8.1 賞の構成

部門ごとに、「PHASE FREE AWARD 2022」の各賞を授与します。

A：事業部門

PHASE FREE AWARD 2022 Gold	1点（表彰状・盾・賞金 10 万円）
PHASE FREE AWARD 2022 Silver	1点（表彰状・盾・賞金 05 万円）
PHASE FREE AWARD 2022 Bronze	1点（表彰状・盾・賞金 03 万円）
PHASE FREE AWARD 2022 Audience	数点（表彰状）

B：アイデア部門

PHASE FREE AWARD 2022IDEA Gold	1点（表彰状・盾・賞金 10 万円）
PHASE FREE AWARD 2022 IDEA Silver	1点（表彰状・盾・賞金 05 万円）
PHASE FREE AWARD 2022 IDEA Bronze	1点（表彰状・盾・賞金 03 万円）
PHASE FREE AWARD 2022 IDEA Audience	数点（表彰状）

8.2 入選対象および受賞対象への特典

事業部門については、フェーズフリー認証に関連した、以下のような特典が与えられます。

A：事業部門

・「受賞対象」のうち Gold、Silver、Bronze 賞への特典

フェーズフリー認証審査料 ： 1 回目免除

フェーズフリー認証マーク使用料 ： 1 年間無料

※これにより、無料で、フェーズフリーアワードエンブレムを 1 年間、対象（本体、パッケージ、パンフレット等）に表示して使用することができます。

・「受賞対象」のうち Audience 賞への特典

フェーズフリー認証審査料 ： 1 回目免除

※これにより、マーク使用料を支払うことで、フェーズフリーアワードエンブレムを 1 年間、対象（本体、パッケージ、パンフレット等）に表示して使用することができます。

・「入選対象」への特典

フェーズフリー認証審査料 ： 1 回目免除

※これにより、マーク使用料を支払うことで、フェーズフリー認証マークを 1 年間、対象（本体、パッケージ、パンフレット等）に表示して使用することができます。

B：アイデア部門

- ・フェーズフリーアワードのリンクバナーを使用することができます。

8.3 「フェーズフリーアワードエンブレム」と「フェーズフリー認証マーク」の関係について

フェーズフリーアワードの入選・受賞は、フェーズフリー認証の基準を満たし、その中でも特にフェーズフリーの特性が高いことを意味します。つまりアワードエンブレムは、「上位の認証マーク」と言えます。

このことから、アワードエンブレムを使用することは認証マークを使用することでもあるため、認証マークの使用規約およびガイドラインの遵守と、本来は認証マーク使用のための費用（審査料・使用料）が必要です。

特典は、この費用の一部または全部を免除することです。

- ・入選および受賞・・・フェーズフリー認証の資格を取得 + 特にフェーズフリーの特性が高い
- ・アワードエンブレム・・・上位の認証マーク
- ・アワードエンブレムの使用・・・認証マークの使用でもあるため、審査料と使用料が必要

8.4 フェーズフリー認証に関連した特典について

■賞と特典の一覧

※「PF 認証」は、「フェーズフリー認証」を省略したものです。

部門	受賞/入選	表彰状	盾	賞金	特典			
					PF 認証 審査料	PF 認証 エンブレム使用料		
A 事業部門	受賞	Gold	○	○	10万円	1回目免除 ※4年目の2回目以降有料	1年間無料 ※2年目以降有料	
		Silver						05万円
		Bronze						03万円
		Audience						—
	入選	—	—	—	—	※有料		
B アイデア部門	受賞	Gold	○	○	10万円	—	—	
		Silver						05万円
		Bronze						03万円
		Audience						—
	入選	—	—	—	—	—		

- ・審査料「1回分免除」とは

フェーズフリー認証への申請に必要な審査料について、1回目の分を免除するものです。

フェーズフリー認証は、審査を通過することで認証資格を3年間保持することができます。4年目には再度申請を行ない、2回目の審査を受ける必要があります（以降同様に3年ごとの審査が必要）。

※フェーズフリー認証の審査料：1件あたり 30,000円（+消費税 3,000円）

- ・マーク使用料「1年間無料」とは
フェーズフリー認証の取得に必要な認証マーク使用料について、最初の1年間分を無料とするものです。
フェーズフリー認証の審査を通過した後、対象の売上見込額に応じた年間マーク使用料を支払うことで、認証マークを商品等（対象本体、パッケージ、パンフレット等）に表示することができます。
※フェーズフリー認証マークの使用料：年間の売上見込額に応じた金額（対象ごとに異なる）

フェーズフリー認証制度の詳細につきましては、以下のサイトをご確認ください。

- ・フェーズフリー認証サイト <https://cf.phasefree.net/>

8.5 賞および特典についての注意事項

A：事業部門

- ・事業部門では、PF 認証マーク使用料を1年ごとに支払うことで、アワードエンブレムを最長で3年間使うことができます。
- ・4年目以降もアワードエンブレムの使用をご希望の場合は、PF 認証と同じく3年ごとに審査を受け、フェーズフリーの特性を確認する必要があります。PF 認証への申請をお願いします。
- ・アワードエンブレムの無断使用により、入選・受賞等を取り消す場合があります。

B：アイデア部門

- ・アイデア部門には、特典はありません。
- ・アイデア部門の入選・受賞対象が事業化されて実際の商品等になった場合、アイデア部門のアワードエンブレムを商品等に表示することはできません。実際の商品への表示をご希望の場合は、アワードへの応募または認証への申請をお願いします。

8.6 入選を逃した場合について

入選を逃した対象であっても、「アワードの入選基準には届かないながら、認証の基準は満たしている」場合があります。

審査結果の一部（認証の基準を満たしているかどうか）をお伝えすることはできますので、ご希望の場合はお問い合わせください。

9 章 公開情報について

応募対象のうち、入選および受賞した対象については、アワードサイトにて概要を公開します。

9.1 入選対象について

一次審査を通過した対象を、入選対象とします。

入選対象については、オーディエンス賞の投票を受けるため、その情報の一部を2022年8月6日（オーディエンス投票開始日）より、「オーディエンス投票ページ」および事務局の広報などで公開します。

なお「オーディエンス投票ページ」では、応募者名の代わりに応募対象に個別に振られる番号を表示します。

9.2 受賞対象について

入選対象の中から最終審査を通過した対象を、受賞対象とします。

受賞対象については、審査結果および授賞式・シンポジウムの模様を公表するため、その情報の一部を2022年9月10日（授賞式およびシンポジウム実施日）より、アワードサイト並びにフェーズフリー協会の各サイトにて公開します。

なお、応募時にご登録いただいた応募者名、応募対象などの「応募」を「入選」および「受賞」等に置きかえて表示します。また、入選者・受賞者のコメント・顔写真も同時に掲載します。

9.3 入選対象および受賞対象の掲載例

入選対象および受賞対象について、公開用画像および応募シートに記載された内容の一部を公開します。

#	項目例	備考
1	対象名	—
2	画像	画像（公開用）
3	応募者名	個人名、法人名、グループ・団体名
4	部門	事業部門/アイデア部門
5	カテゴリー	—
6	サブカテゴリー	—
7	対象の概要	応募シート内容の一部

※掲載する情報の一部について、事前にご連絡のうえ編集し公開する場合があります。

10章 受賞 PR グッズについて

フェーズフリーアワードの受賞について、受賞者の広報活動を支援するため、受賞 PR グッズを用意しています。詳しくはアワードサイトをご覧ください。

10.1 PR グッズの種類

- ・フェーズフリーアワードトロフィー
受賞対象1件につき1個贈呈するトロフィーは、複製の追加購入が可能です。
- ・フェーズフリーアワード表彰状
受賞対象1件につき1枚贈呈する表彰状は、複製の追加購入が可能です。

※サイズ、価格、納期等の詳しい情報については、アワードサイトに掲載予定です。

■お問い合わせ先

PHASE FREE AWARD 2022 フェーズフリーアワード 2022 事務局

PHASE FREE AWARD 2022 Web サイト : <https://aw.phasefree.net/>

お問い合わせ用メールアドレス : info@phasefree.net

※お問い合わせメールの件名について

「フェーズフリーアワード」の件ということがわかりやすいように、件名の先頭に「アワード」または「PF アワード」と入れてくださいますようお願いいたします。

■2022.01.17 初版